

『地域密着型金融の取組み状況』【平成29年度】（29年4月～30年3月）

加茂信用金庫

【事例1】

1. 項目	成長段階企業支援
-------	----------

2. タイトル	地域支援特別融資「かもしん地域支援ローン」の取扱い開始について
---------	---------------------------------

3. 取組み内容 および成果	<p>当金庫の営業エリアの中小規模な地元事業先を積極的に支援し、将来に向けた地域経済の成長・発展に貢献すべく「地域支援特別融資『かもしん地域支援ローン』」を平成29年4月より取扱いを開始した。 本資金は、原則、無担保・無保証の事業者ローンであり、部店長が積極的に支援したい先を対象とした当金庫独自の融資商品として、既存先に限らず新規開拓のツールとして商品開発した。</p> <p>【商品概要】 手貸、証貸 金額500万円以内 期間7年以内 運転・設備資金 保証人：法人は代表者、個人事業主は不要 チェックリストによるスコアリング方式 部店長による専決可</p> <p>【30/3月末実績】 手形貸付 101件 272百万円（平均実行金利2.949%） 証書貸付 87件 243百万円（平均実行金利3.293%） 合 計 188件 515百万円</p>
-------------------	---

4. 外部との連携	無し
-----------	----

5. 担当部署名	融資部 業務部
----------	---------

『地域密着型金融の取組み状況』【平成29年度】（29年4月～30年3月）

加茂信用金庫

【事例2】

1. 項目	経営改善支援
-------	--------

2. タイトル	中小企業支援活動
---------	----------

3. 取組み内容 および成果	<p>地域密着型金融の一環として、中小企業再生支援活動を重点的かつ継続的に取り組んでいる。</p> <p>(1)取引企業先に対する定期的訪問による実態把握 営業店は、取引企業先への定期的な訪問を実施し、企業の実態把握に努めるとともに、要望等に対しては、迅速に対応し、金融円滑化に向けた積極的な対応を行った。</p> <p>(2)「経営改善計画書」策定と進捗管理および経営改善支援 平成29年度は、支援先を23先選定し、営業店と融資管理支援委員会が「経営改善計画」策定支援等について助言・指導を行ったほか、経営課題や経営支援ニーズは複雑化、高度化していることから下記の外部機関等と連携をとりながら、モニタリングの強化を行った。 ①中小企業再生支援協議会との連携(2先) ②経営コンサルタントとの連携(7先) (外部機関等との連携 合計9先)</p> <p>(3)中小企業取引先における条件変更等要望先に対する速やか且つ真摯な対応 中小企業者からの条件変更等の申込みは、平成30年3月末現在累計で1,797件を受付、うち1,725件を実行した。(審査中9件、取下げ63件)</p> <p>(4)ビジネスマッチングによる販路拡大支援 平成29年8月に酒類を募集対象としたアマゾンジャパンと連携したビジネスマッチング企画へ1社が参加、平成29年11月に県協会が主催する個別商談会に4社が参加した。</p> <p>(5)「かもしんきん大関倶楽部」の活動 若手経営者や事業後継者を対象とした「かもしんきん大関倶楽部」において企業視察や後援会、企業分析や異業種交流を通じ、経営者の資質向上と事業後継者の育成支援を図った。</p>
-------------------	---

4. 外部との連携	有り
具体的な連携先	中小企業再生支援協議会、経営コンサルタント等
連携先の役割	中小企業再生支援協議会、再生支援センター、経営コンサルタント等の外部機関との連携を強化して、当金庫取引先合計9社の支援・育成に努めている。

5. 担当部署名	融資部 業務部
----------	---------

『地域密着型金融の取組み状況』【平成29年度】（29年4月～30年3月）

加茂信用金庫

【事例3】

1. 項目	事業再生支援
2. タイトル	事業再生・支援に向けた個別研修会および「ふれあいオリンピック」の開催
3. 取組み内容 および成果	<p>近年の中小・零細企業の業績低迷業況や回復の遅れ、経営者の高齢化・後継者不足など、取引先の問題は多様化しており、これに伴い、金庫の担うべき事業支援の手法も多様化していることから、平成27年10より認定事業再生士とアドバイザー契約を締結し、融資部支援課を担当部署として「事業性評価に基づく融資」、「事業再生支援に向けた顧客の実態把握」を徹底するため毎月3回の個別研修を開催し、支店長・役席から担当者レベルまで個別指導を行っている。</p> <p>具体的には、ビジネスモデルの俯瞰図を策定し、事業性評価を行える体制整備を行い、実際に取引先と接する融資・渉外担当の知識とスキルアップを図るべく、当初は対象店舗8店舗に、メイン先、事業改善意欲がある先を選定基準として、各店1先の対象としてスタートさせ、その後、平成29年度は21先を対象として取り組んだ。</p> <p>認定事業再生士を交えた個別研修会の中で、取引先の事業に対する検証・分析を議論し、その場で行動レベルまで落とし込んだアドバイスを行うことで、対象先のコンサルティング業務へすぐ反映できるよう指導している。事業性評価に対する理解度も浸透してきており、平成30年度も引き続き継続していく。</p> <p>また、毎月の個別研修会の中で生まれた地域活性化プロジェクト「ふれあいオリンピック」を、新発田、村上、当金庫の3金庫（当金庫含む）の連携により、29/9月（新発田会場）、29/10月（村上会場）、29/11月（加茂会場）を開催した。各金庫の取引先企業が参加する直販型の企画であり、参加取引先の将来性を含めた事業性評価に繋がることから、平成30年度も継続して開催していく。</p>
4. 外部との連携	有り
具体的な連携先	認定事業再生士、新潟経営大学
連携先の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先の事業再生・支援等の実施および職員のスキルアップを図るための指導・アドバイス</li> <li>・当金庫取引先に対するマーケティングを含む共同コンサルティング</li> </ul>
5. 担当部署名	融資部支援課

『地域密着型金融の取組み状況』【平成29年度】（29年4月～30年3月）

加茂信用金庫

【事例4】

1. 項目	地域密着型金融に資する評価制度・人事考課や表彰制度の制定・改正について
2. タイトル	業績表彰規定の改定（事業性評価部門等の追加）
3. 取組み内容 および成果	平成30年3月に、通常の業績部門とは別枠で、融資部支援課が毎月開催している取引企業先の「事業再生・支援にかかる個別研修会」の取組状況・成果等を評価（店舗および担当者）する事業性評価部門を追加しました。取引企業先の事業再生・支援は、手間と時間を要する業務であり、担当者のモチベーションアップを目的として新設しました。 また、年金や相続相談など、お客様に親身になって相談に乗るなどして、顧客目線の行動や非効率なサービスの実践により、大変感謝された事例や、信用金庫職員として模範となる行動をとった職員など、営業店から推薦状を提出してもらい特別部門として個人表彰することとした。
4. 外部との連携	有り
具体的な連携先	信金中央金庫 信用金庫部
連携先の役割	信金中央金庫より「営業力強化」のコンサルティングを受け、業績表彰規定の改定に当たり、アドバイスを受けて内容の見直しを行った。
5. 担当部署名	業務部 融資部